

2017年世界湿地の日記念シンポジウム

1971年2月2日にラムサール条約が採択されたことを記念して、ラムサール条約事務局は毎年2月2日を「世界湿地の日(World Wetlands Day)」と定めています。湿地への関心を高めるために、世界各地で様々なイベントが開催されています。2017年の世界湿地の日のテーマは「湿地と防災・減災(Wetlands for Disaster Risk Reduction)」です。シンポジウムでは、湿地と防災・減災について、世界の動向、日本国内の取組を紹介し、湿地が防災・減災に果たす役割を再確認します。

2017年2月4日(土) 14:00 - 17:00

場 所: 国連大学エリザベス・ローズ国際会議場

テーマ: 湿地と防災・減災

参加費無料

主 催: 日本国際湿地保全連合(WIJ)
国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)
地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

協 力: ラムサールセンター



World
Wetlands Day
2 February 2017

Wetlands for Disaster Risk Reduction

基調講演

古田尚也 大正大学 教授・IUCN日本リエゾンオフィス コーディネーター

Eco-DRRに関する国際的動向

島谷幸宏 九州大学 教授

日本におけるEco-DRRについて

取組紹介

八元綾 環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性地球戦略企画室 室長補佐

生態系を活用した防災・減災

～自然と人がよりそって災害に対応するという考え方～

堂菌俊多 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川環境保全調整官

河川管理者が行う湿地保全に関する最新情報について

阿部拓三 宮城県南三陸町 産業振興課 ネイチャーセンター準備室 復興支援専門員

志津川湾における震災からの復旧と 湿地・干潟をめぐる現状について

守分紀子 国連大学サステナビリティ高等研究所
SATOYAMAイニシアティブコーディネーター

防災・減災とSATOYAMAイニシアティブ

名執芳博 日本国際湿地保全連合 会長

防災・減災に関わる

Wetlands Internationalの取り組み



松浦川 アザメの瀬(自然再生湿地)平常時



松浦川 アザメの瀬(自然再生湿地)氾濫時

タイムテーブル

13:30 - 受付

14:00 - 17:00 シンポジウム

・基調講演・取組紹介

・ディスカッション、まとめ

17:30 - 懇親会

(国連大学1F アネックススペース)

申込先・詳細

<https://goo.gl/UnHHYj>

※シンポジウム、懇親会ともに事前申込が必要です。

問合せ先

日本国際湿地保全連合(Wetlands International Japan)

TEL: 03-5614-2150 E-mail: info@wi-japan.org

参加申込みフォーム
QRコード

